

原著

肺非結核性抗酸菌症診療における COPD assessment test の有用性

尾下 豪人, 緒方 美里, 井上 亜沙美, 佐野 由佳, 吉岡 宏治,  
池上 靖彦, 山岡 直樹

所属機関：国家公務員共済組合連合会吉島病院 呼吸器内科

## 要旨

肺非結核性抗酸菌（NTM）症患者 109 例の初診時 CAT を検討したところ、CAT 高値例（10 点以上）では低値例よりも炎症反応が高値で喀痰抗酸菌塗抹陽性率が高かった。治療導入した 29 例中 18 例で 6 ヶ月後の CAT が改善（2 点以上の低下）した。治療前 CAT 高値例では低値例よりも排菌陰性化率は低かったが、治療による CAT 改善率が高く、排菌陰性化しなくても CAT の改善が見られる症例が多かった。肺 NTM 症治療において CAT による健康関連 QOL 評価は有用な効果指標となりうる。

キーワード：

肺非結核性抗酸菌症（non-tuberculous mycobacterial pulmonary disease : NTM-PD）

*Mycobacterium avium* complex（MAC）

健康関連 QOL（Health-related quality of life）

COPD assessment test（CAT）

短縮タイトル：肺 NTM 症診療における CAT の有用性